

令和3年7月20日

一学期 終業式のお話

校長 青木 幸代

第二延山小学校のみなさん、おはようございます。

離れた教室同士でも、みんなで心を合わせてあいさつができて、うれしいです。

77日間の1学期でした。

昨日の朝会でもお話したように、それぞれがんばったこと・続けたことがきっとあったことでしょう。

今日、校長先生からお話しするのは、4月のスタート、始業式でお話したことです。

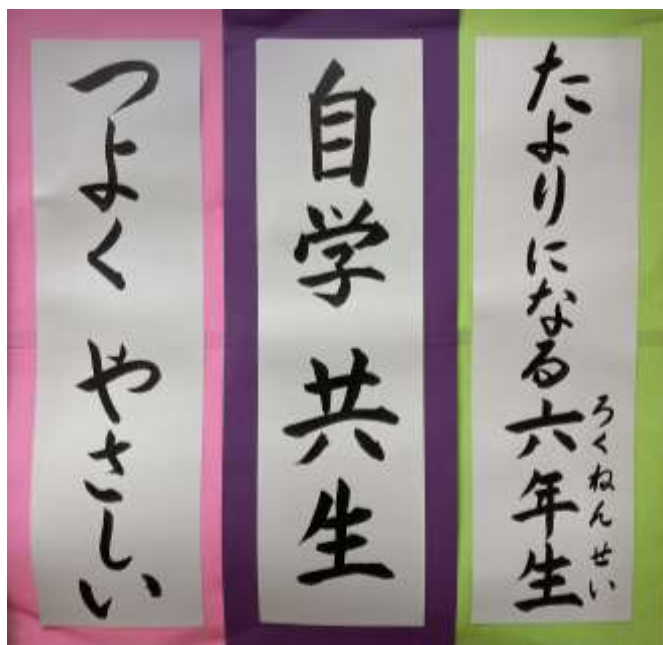
1学期間、たよりになる6年生の姿を、たくさん見せてもらいました。見事でした。

さて、皆さん「強く・やさしく」過ごすことができたでしょうか？

「自学」とは自分がんばること。「強く」と同じ。「共生」はみんなとともにできること。「やさしい」と同じ。・・・そんなことを始業式でお話しました。

「強く・やさしく」できたこと、すごせたことが、だれにもきっとあったことと思っています。

1学期の終わりの今日、一人一人がぜひ、振り返ってみてほしいと思います。



最後にもう一つお話させてください。

第二延山小学校に来て「ああ、すてきだな。」と思ったことがたくさんありましたが、その中でも特に心に残ったことがあります。それは、雨の日に生活委員会の皆さんがタオルもって、登校途中で濡れたランドセルを拭いてあげる活動です。いろいろな学校を見てきましたが、初めて見た光景でした。これからもずっと続けてほしい活動です。

さて、明日からいよいよ夏休み。暑い暑い毎日が続くと思いますが、どうか元気に楽しく過ごしてください。9月1日にまた皆さんに会えることを、楽しみにしています。